



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2005. 12 月号

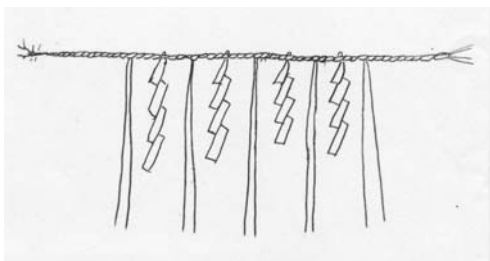
年神さまを迎える×飾り

神社のお祭りが近づくと、表通り沿いに×（しめ）縄が張り巡らされます。年に一度地域に訪れる氏神様を迎えるための標識です。×縄のシメは、「占む」（空間を占有すること）が語源で、悪いものや穢れたものを閉め出し、神さまの聖域を護るという意味があります。

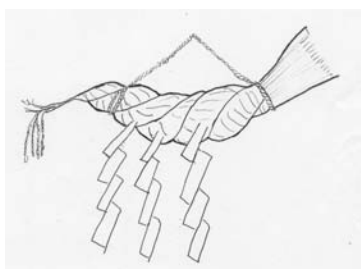
お正月は、私たちの家に神さまが訪れる特別な期間です。氏神さまのお祭りが地域あげてのお祭りなら、お正月は家や親類単位のお祭りといえます。そのお正月の神さまは、年神さまと呼ばれます。年神さまは、私たちに新しい魂を授けてくれる神さまで、それゆえ新年は誰もが平等に一才年をとるのです。年神さまの来臨により、一年一年魂は更新されていくという考え方です。

そのような大切な年神さまを迎えるために、×飾りをします。門口に門松、玄関に×縄、年神棚と大神宮棚にはクミダレやナイサゲといった手の込んだお飾りをします。エベッさん（エビスさま）には縁起のよい宝船、荒神さまには×縄、この他、屋敷の稲荷さま、蔵や物置の戸、井戸など、神さまを祀る所や大切な場所に一文飾りや×縄を飾ります。こうして×縄を飾った所は三が日の間、お灯明をあげ、お供えをあげます。

×飾りは×縄が装飾化したもので、飾る意味は同じです。博物館の体験学習「お飾り作り」では、一文飾り、輪飾り、ナイサゲ、宝船、床の間に飾る星の玉などを作っています。手作りのお飾りで新年を迎えれば、きっとよい年が来るような、そんな気がしませんか。体験学習は12月18日（日）13時より講堂で実施します。希望者は、9日までに往復はがきでお申し込みください。なお、江戸で玉飾りと呼ぶ玄関飾りを購入して飾る家が最近増えてきましたが、博物館では平塚市内の伝統的なお飾りを作るため、玄関飾りは作りませんのでご了承ください。



×飾り（ナイサゲ・タレカザリ）



宝船



お飾り作り体験風景

12月の寄贈品コーナー（12月1日～25日） 「平成16年度湘南新道関連遺跡群」の見どころ

湘南新道関連遺跡は都市計画道路3・3・6号湘南新道街路整備事業に伴う事前調査として、平成12年度から継続的に実施されており、四之宮廃寺跡・大会原遺跡・坪ノ内遺跡・六ノ域遺跡が対象となる複合遺跡群をさします。今までに、縄文時代・古墳時代・古代・中世・近世の遺構・遺物が発見されており、大変大きな成果を上げています。今回は平成16年度に実施された成果の一部を展示しました。その最大の見どころの古代の大型建物跡について紹介します。

発見された場所は大念寺の東、旧厚木道の東側付近です。建物は8世紀前半の南北棟で、梁行3間（11m）、桁行き9間以上（25m以上）、東西に庇がある非常に大きなものです。この発見により、平成16年12月3日に新聞等に発表され、4日に現場説明会が行われたことは、皆様の記憶に新しいことと思います。報道では、相模国府に関連した格式のある大型建物として紹介されました。

さて、発見された意義について考えてみたいと思います。先ず第1は、従来から「相模国府」は平塚に所在するとの見解が大勢を占めていましたが、ただ8世紀前半の大型建物が発見されていないので、確定するにはまだ問題があるとの指摘がありました。今回の県内最大級の建物跡の発見で、その点は解決されたと考えていいと思います。第2は、大型建物の性格が問題になるかと思っています。報道によると、「国政をつかさどる役所『国庁』に付随する『曹司』の中心的な施設」として紹介されました。この建物は全国で発見されている官衙建物の中でも非常に大きな建物であることは事実です。もし、国庁の脇殿としたならば、庇が付く建物は全国で初めての建物になります。それだけに格式をもった国庁の脇殿になると考えます。曹司の中心的建物としたならば、税務・財政などを行う部門の建物と想定されます。

今後、周辺地域のきめ細かい調査が必要ですが、相模国府所在地が確定し発見と言えます。（明石）



秋期特別展「大地をめぐる石の旅」を終えて

■「大地をめぐる石の旅」の展示

10月8日から始まった秋季特別展「大地をめぐる石の旅」は11月20日をもって終了しました。

今回の展示では、石ころと砂にスポットを当て、海底などで生まれた石がどのようにして生まれ、浸食されて砂になり、海底に再び堆積し、また陸地を作るといふ、大地を巡る果てしない旅路を紹介しました。海や川に見られる砂は、いくつかの異なる供給源の砂がブレンドされていて、砂をカクテルグラスに入れて、展示しました。砂を綺麗に見せることで、多くの方々に興味を持ってもらうことができ、好評を得ることができました。この特別展開催にあたっては、平塚地質調査会の多大な協力がありました。

■関連事業

①特別記念セミナー

10月22日には、「相模湾の誕生と丹沢の成立」と題したセミナーを湘南地球科学の会との共催で実施しました。海洋研究開発機構の藤岡換太郎博士、横浜国立大学大学院教授の有馬眞氏、神奈川県立生命の星・地球博物館の平田大二氏・当館学芸員の森が講演を行い、107名の受講者があり、講堂に入りきれない盛況でした。

②連続講座

会期中、「相模川流域のなりたち」をテーマに毎週1回、平日に5回の連続講座を行いました。内容は、相模川流域の地形と丹沢の成立、川石から見る流域の地質、石ころと砂粒は語る、相模川の変遷と流域の古地理、平塚の平野の地形と地層で、展示解説書を参考資料としました。常時30名ほどの参加者がありました。

③野外観察会

11月5日、山北町谷峨の河原で「石ころのふるさとを探る」をテーマに野外観察会を行い、酒匂川の石ころを観察しました。22名の参加者がありました。

④展示解説

会期中、10月8日、11月13日の2回の一般者向けの特別展展示解説を行いました。いずれも25名ほどの参加がありました。11月4日は市役所職員向けの解説も5時以降に行いました。

(森)



特別展示室の様子



特別展記念セミナー



連続講座



野外観察会

博物館カレンダー

2005年12月の行事

12	1	木	○ ☆	展示解説ボランティアの会 寄贈品コーナー「湘南新道遺跡群」 (～12/25)	特研究室 展示室
12	2	金		古文書講読会	講堂
12	3	土	☆	相模川の生い立ちを探る会 プラネタリウム「2006年の天文現象」(～2/5) 天体観察会「天体写真」	野外 プラネ室 月光天文台
12	4	日	◎	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会 天体観察会「天体写真」	水辺の楽校 伊勢原市 月光天文台
12	8	木		石仏を調べる会	特研究室
12	9	金		古文書講読会	講堂
12	10	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
12	11	日		古代遺跡を探る会	野外
12	15	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
12	17	土		地質調査会 星まつりを調べる会	科学室 特研究室
12	18	日	◎ ○	ろばたばなし 体験学習「お飾りづくり」	展示室 講堂
12	21	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
12	24	土	○ ◎	自然の新聞を作る会 空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ 自然の新聞を作る会	野外 特研究室 特研究室 屋外
12	25	日		地質調査会	野外

2006年1月の行事

1	4	水	☆	寄贈品コーナー天文(～1/29)	展示室
1	5	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
1	6	金		古文書講読会	講堂
1	8	日		古代遺跡を探る会 地質調査会	野外 科学室
1	12	木		石仏を調べる会	特研究室
1	13	金		古文書講読会	講堂
1	14	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会	虹ヶ浜 野外
1	15	日	◎ ◎	水辺の楽校生きもの調べの会 ろばたばなし	水辺の楽校 展示室
1	18	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
1	19	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
1	20	金		古文書講読会	講堂
1	21	土		民俗探訪会「博物館まつり準備」 天体観察会「スターウォッチング調査」	講堂 屋上・科学室
1	22	日		相模川の生い立ちを探る会 天体観察会「スターウォッチング調査」	野外 屋上・科学室
1	26	木		石仏を調べる会	特研究室
1	27	金	◎	星を見る会「冬の星座星雲星団」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
1	28	土		星まつりを調べる会 空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ	科学室 特研究室 特研究室

☆: 展示(無料)、プラネタリウム(観覧料)、○: 申込制、◎: 自由参加、無印: 年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「湘南新道関連遺跡群展」

平成16年度の調査成果を展示します。

期間: 12月1日(木)～25日(日)まで

☆プラネタリウム

◎「2006年の天文現象」

来年は、どのような天文現象が私たちを待っているのでしょうか。惑星の見え方、月食など、見逃せない現象一年分を一気に紹介します。「一年の計」にお役立て下さい。

投影日: 12月3日～2月5日(土)の土・日の午前11時と午後2時

観覧料: 100円(中学生以下無料)

◎「12月の天文現象」

毎月第一土曜日午後、当月の天文現象を紹介・解説します。

投影日: 12月3日(土)午後2時

観覧料: 100円(中学生以下無料)

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時: 12月10日(土)午前9時30分～11時

場所: 平塚虹ヶ浜海岸

参加: 自由(初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時: 12月18日(日)(1)午後1時20分～(2)

午後3時～

参加: 自由

場所: 展示室民家

◎体験学習「お飾り作り」

日時: 12月18日(日)午後1～4時

場所: 博物館講堂

参加: 往復葉書で申し込み

定員: 30名

材料費: 100円

◎自然の新聞を作る会

冬の鳥を観察し、新聞にまとめます。

日時: 12月24日午後1時～4時30分

場所: 立て掘親水公園

☆プラネタリウム休演のお知らせ☆

平成18年1月17日(火)～2月9日(木)まで、天文展示工事を行う予定です。

そのために、土・日の一般向けのプラネタリウム(1月21日・22日・28日・29日の4日間)を休演致します。小学校の学習投影については、工事の進捗状況によって、可能な限り対応します。

あなたと博物館 31巻9号 通算348号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/